

私の道

南部中・1 木村 莉菜

中学校に入ったら
学校が家の近くになった
この嬉しさは あまり味わえないだろう
だが この嬉しさはすぐに消えてしまった

小学一年生

期待と希望であふれてる
どんなに長い道のりでも
ちよっとした冒険に思えた

小学四年生

いつもの道に少しずつ飽きを感じる
めんどくさいと感じる

小学六年生

長い道のりが地獄
早く中学生になりたいと思う

そして 待ちに待った入学式
友達と 軽い足取りで向かう学校
帰りも スキップしたくなる気分
これから楽しく学校に行けそうだ

入学式から少し経ち

登下校について 小さな不満が出た
学校が近すぎて 友達と話せない

少し話しただけで もう「じゃあね」
後ろ髪を引かれながら手を振る
あれだけ嫌だった小学校の登下校が

今は少しだけ恋しい
一年生の元気な声

うるさかったセミの声

たくさん集めたイチヨウの葉
ぬくもりを感じるホッカイロ

きれいに咲く桜の花

今思えば 楽しいこともたくさんあった

どうして気づかなかつたんだろう

戻りたい 戻りたい

もう戻れない

今さら気づいても もう遅い

そのとき思っていたことも

時が経てば気持ちも変わる

だからこそ

今やっている一つ一つを大切に

これからはずっと

私の道を歩いていく